



震災アーカイブポータル「ひなぎく」の 役割と現況

電子情報部主任司書 小林 芳幸





1. 背景と基本理念

2. 現況

3. 今後に向けて

1. 背景と基本理念

「知識インフラ」



- 国立国会図書館における今後の科学技術情報整備の基本方針に関する提言（平成23年1月19日・科学技術関係資料整備審議会）

知識インフラは、科学技術研究活動の実践を根本で支え、科学、技術、学術、文化活動によって生み出される多様なデータ、情報を開放し、それらへの迅速で適切なアクセスを可能にすることで、それらを有効な知識として活用して次の研究、開発、教育、その他の社会的・文化的実践へとつなげる動的サイクルを形成することを目的としている。そこでは、個別学術分野を越えた知識の融合を可能とし、学際的な新しい知識やイノベーションの創造を容易にするものである。

<https://www.ndl.go.jp/jp/collect/tech/pdf/kashin52shiryo1.pdf>

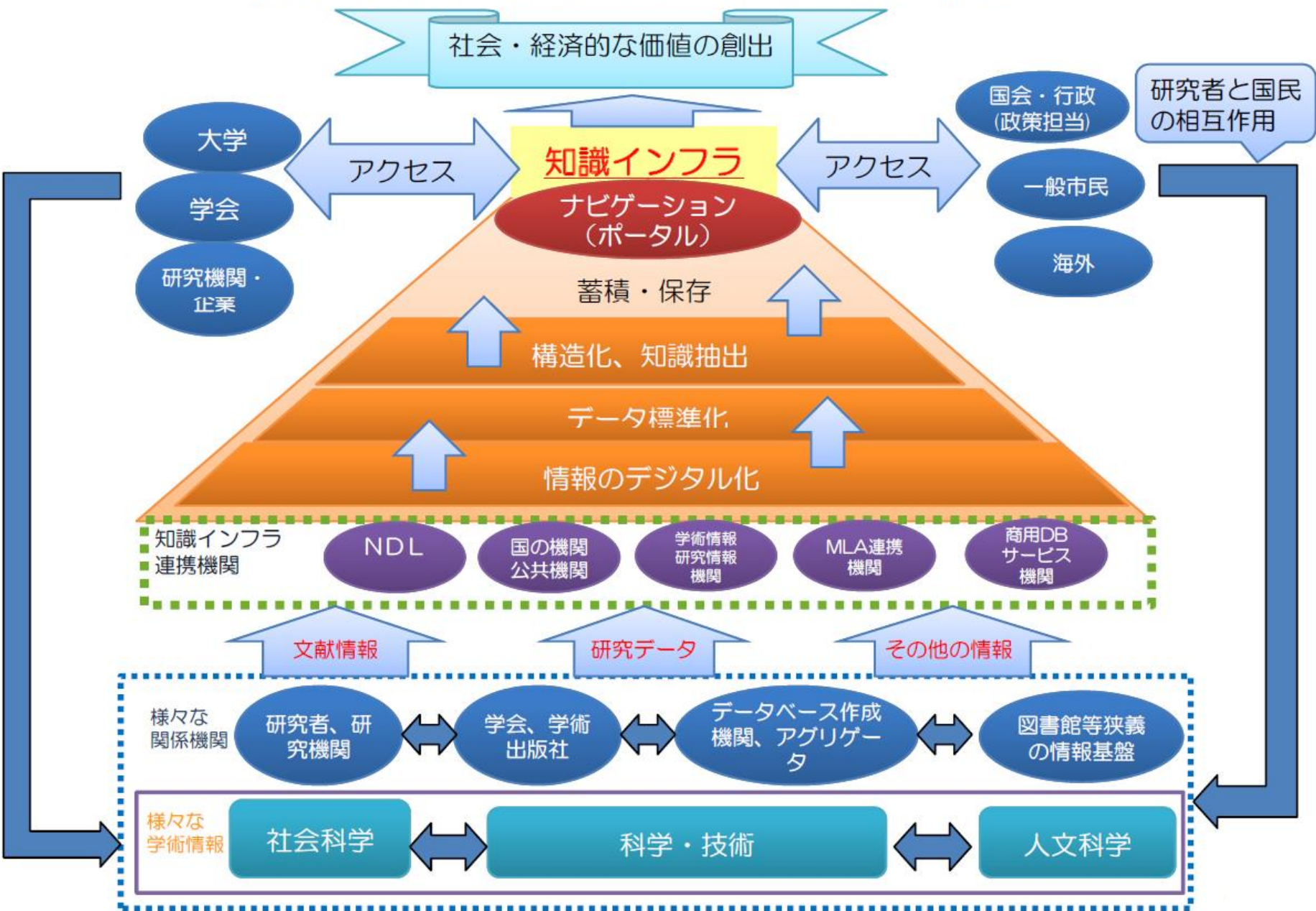
- 長尾真国立国会図書館長（当時）「国立国会図書館における東日本大震災アーカイブの取組み」（平成24年3月シンポジウム）

「知識インフラ」構築に向けた取組

個別事業の実施（先行的事業の一つとして「震災アーカイブ」の構築）

https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3567741/www.ndl.go.jp/jp/311earthquake/disaster_archives/events/symposium2.pdf

新たな知識の創造と還流



ひなぎくの基本理念

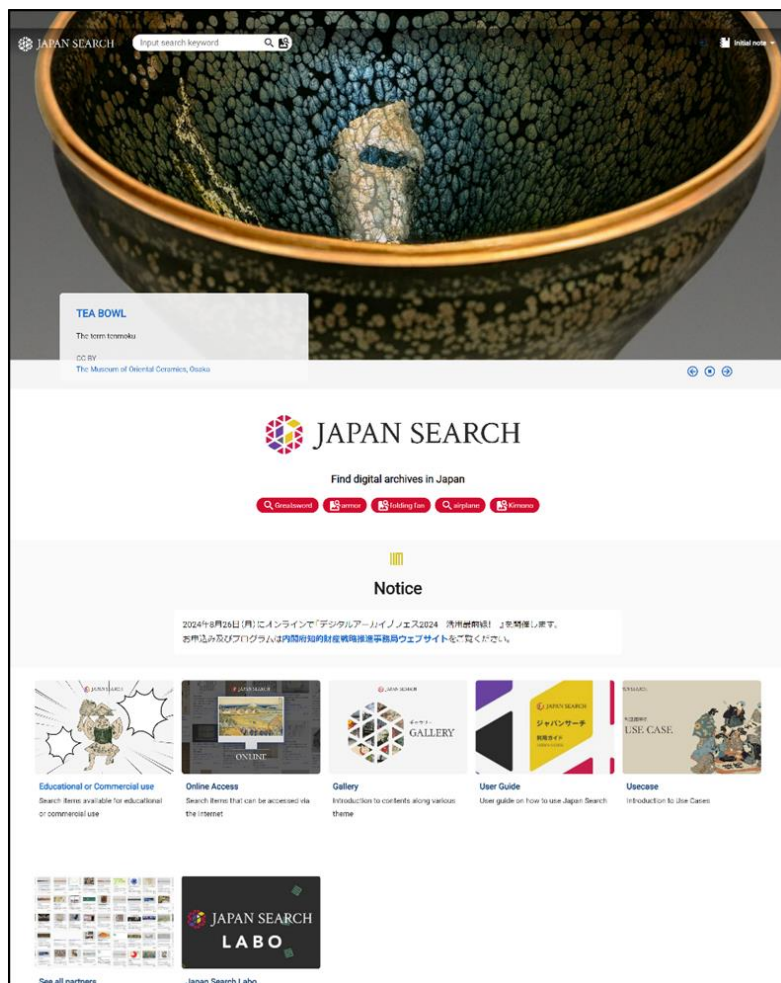


- 国内外に分散する東日本大震災の記録等を、国全体として収集・保存・提供すること。
- 関係する官民の機関が、それぞれの強みを活かし分担・連携・協力し、全体として国の震災アーカイブとして機能すること。
- 東日本大震災の記録等を国内外に発信するとともに後世に永続的に伝え、被災地の復興事業、今後の防災・減災対策、学術研究、教育等への活用に資すること。

（「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ構築プロジェクトの基本的な方針」（平成24年国図電 1204273号）2.1「東日本大震災アーカイブ」の基本理念より）

扱われる情報が震災記録に限定されているが、ひなぎくは知識インフラにおけるナビゲーション（ポータル）の役割を担うものとして構築されている。

(参考) ジャパンサーチ

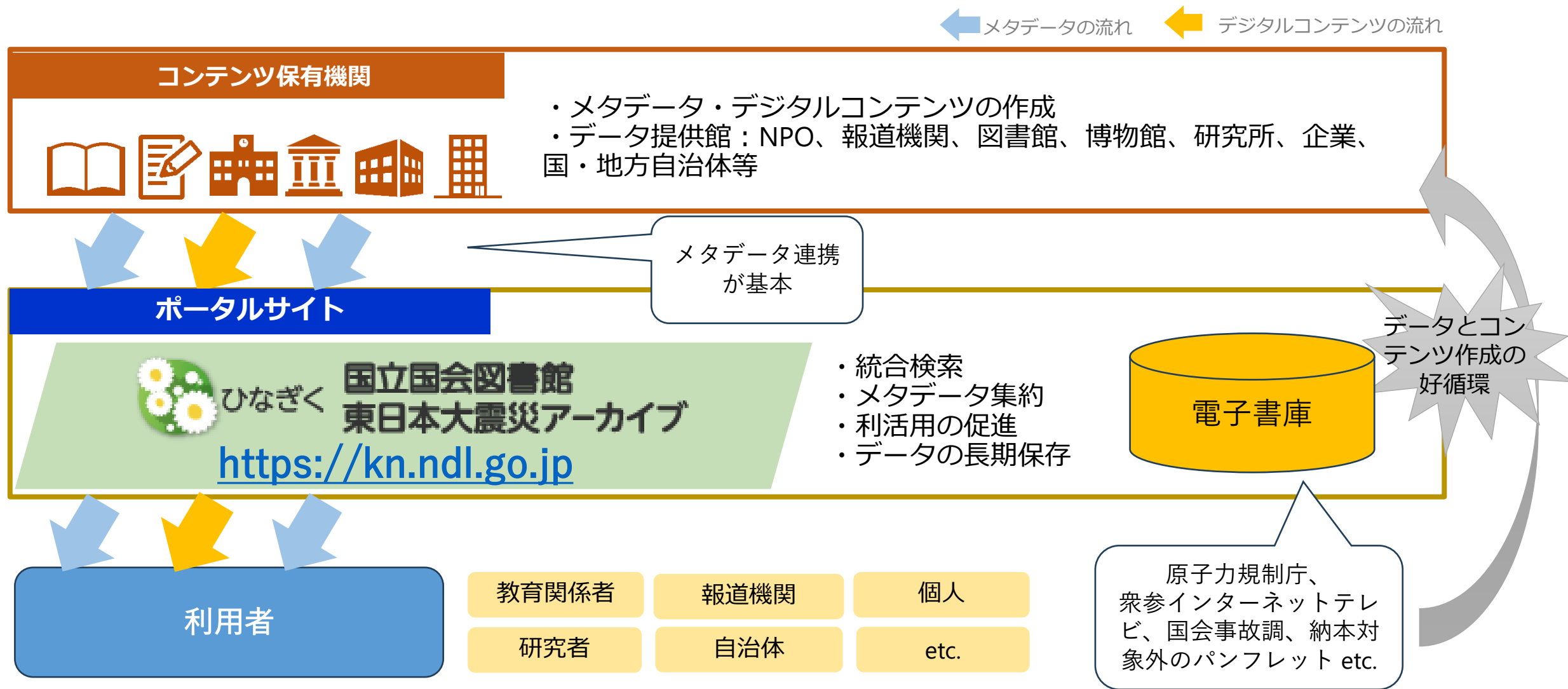


<https://jpsearch.go.jp>

- 令和2年8月正式公開
- 書籍・公文書・文化財・美術・人文学・自然史/理工学・学術資産・放送番組・映画など、我が国が保有する様々な分野のコンテンツのメタデータを検索・閲覧・活用できるプラットフォーム
- 内閣府（知的財産戦略推進事務局）による委員会が運営。
- 国立国会図書館はシステムの開発・運用と連携協力を担当。

2. 現況

連携方式



主な連携機関 (令和6年11月時点)

○動画・音声

原子力規制委員会	5,002
niconico	3,182
NHK東日本大震災アーカイブス	2,392
衆議院インターネット審議中継	1,994
朝日放送テレビ 阪神淡路大震災 激震の記録1995 取材映像アーカイブ	1,983

○文書資料等

日本原子力研究開発機構図書館蔵書	1,262,726
福島原子力事故関連情報アーカイブ (日本原子力研究開発機構)	270,164
いわて震災津波アーカイブ～希望～	237,970
人と防災未来センター資料室	237,042
日本災害DIGITALアーカイブ (ハーバード大学ライシャワー日本研究所)	120,167

赤字は
東日本大震災以外
の震災アーカイブ

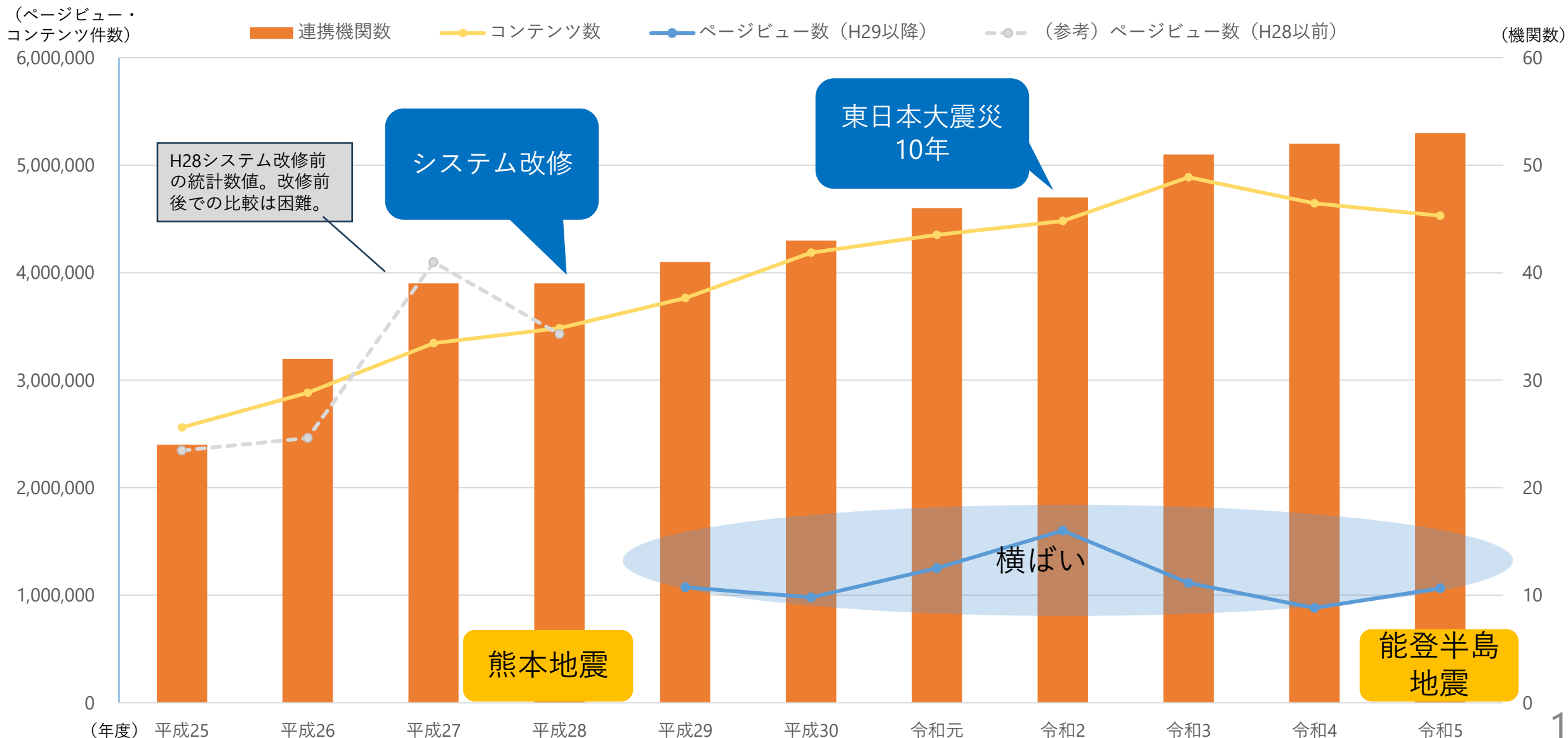
○写真

熊本災害デジタルアーカイブ	152,551
東日本大震災アーカイブ宮城	145,416
人と防災未来センター資料室	140,522
みちのく震録伝 (東北大学災害科学国際研究所)	124,435
久慈・野田・普代 震災アーカイブ	96,904

○Webサイト

日本災害DIGITALアーカイブ (ハーバード大学ライシャワー日本研究所)	64,521
WARP(国立国会図書館)	6,207
共同通信社	3,115
「語り継ぐもの」—中越地震データベース—	439
内閣府	403

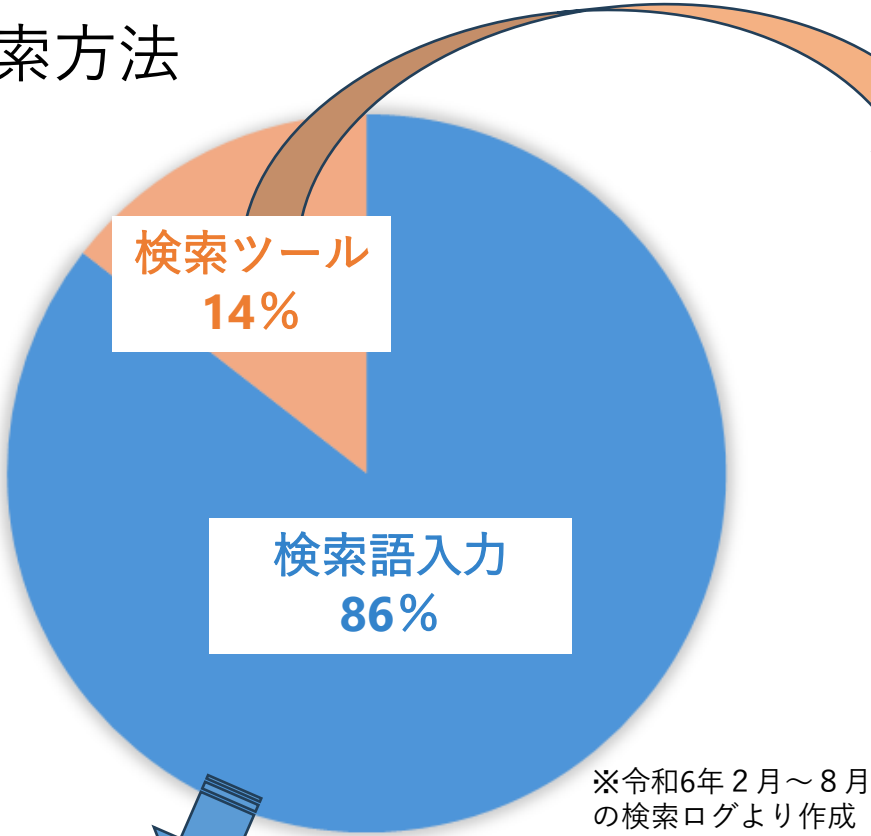
連携機関、コンテンツ、ページビュー数



キーワード検索ログからニーズを推測する



○検索方法



※令和6年2月～8月の検索ログより作成



国立国会図書館
東日本大震災アーカイブ

簡易検索

詳細検索

カテゴリー

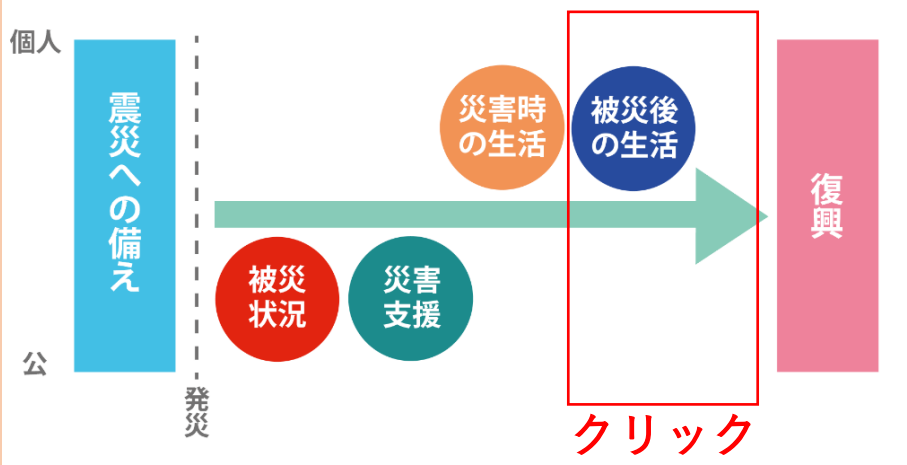
震災

被害

検索ボタン

ひなぎくは 震災の記録等のポータルサイトです

【テーマ別検索】 <https://kn.ndl.go.jp/static/ja/click.html>



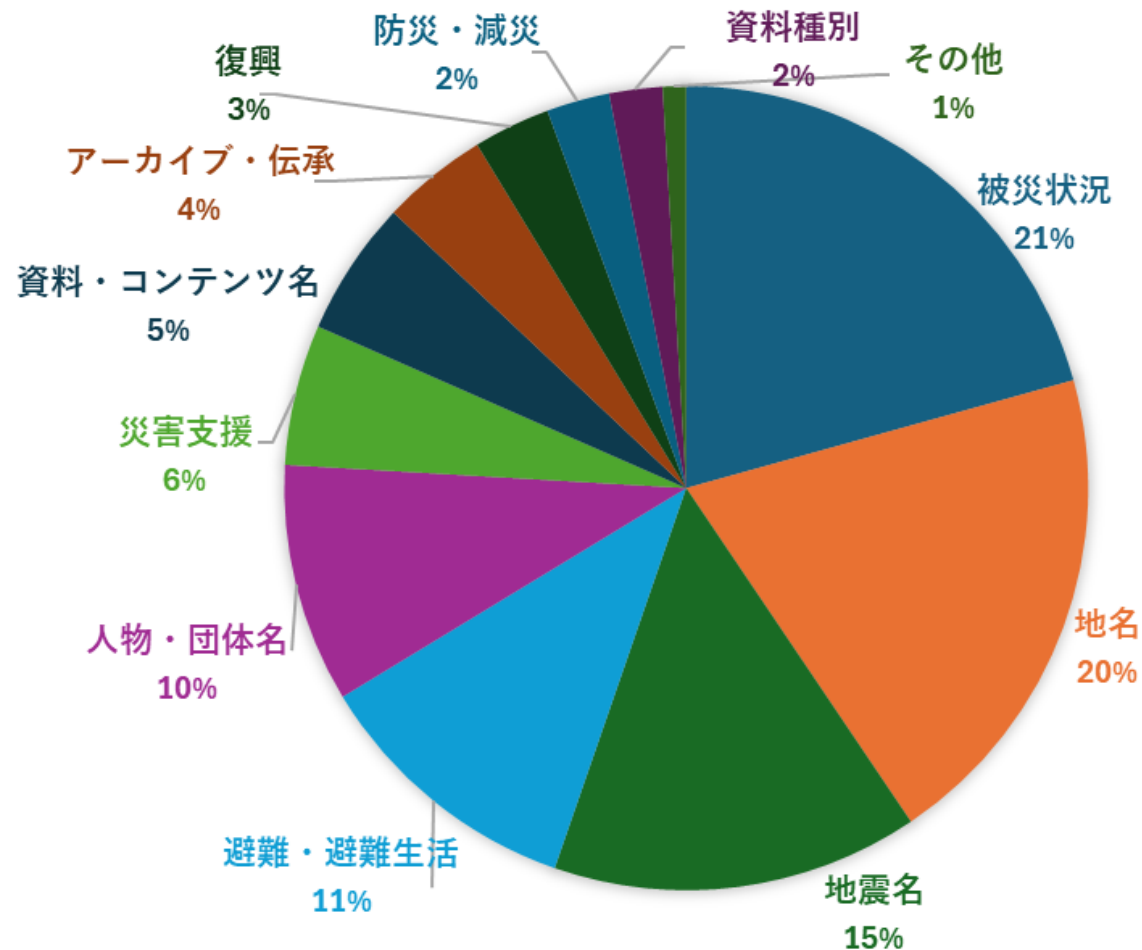
【地震年表】 <https://kn.ndl.go.jp/static/ja/earthquake.html>

平成23(2011)年 3月12日	長野県北部地震						長野県北部 地震
平成28(2016)年 4月14日	熊本地震					クリック	熊本地震
平成30(2018)年 9月6日	北海道胆振東部地 震				○	○	北海道胆振 東部地震, 胆 振東部地震

キーワード検索ログからニーズを推測する



○検索語の種別



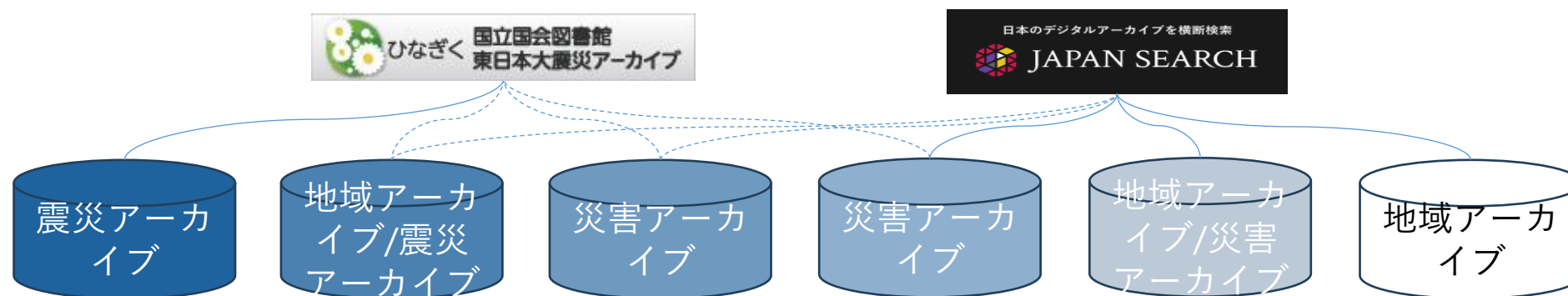
※令和6年2月～8月
の検索ログより作成

- 約2割が被災状況に関連する検索語である。個別の被災状況に関する単語がなく地名だけの検索語も加えると約4割（41%）が被災状況に関する検索語と推測される。例:「建物△被害」「津波△被害」「道路陥没」
- 求める資料やコンテンツがわかっていると思われる検索語が5%程度存在する。人物・団体名での検索も加えると2割弱（15%）が具体的な資料に関する何らかの情報を前提に検索していると推測できる。
- 避難・避難生活に関する検索語が1割程度見られる。
- その他特徴的な検索語として以下のものがある。
 - ・「遺体安置所」「遺体」「死者」などの検索語。
 - ・「水害」「台風」「旱魃」など震災以外の災害に関する検索語。災害アーカイブと認識されている面があると推測される。

3. 今後に向けて



- 「知識インフラ」の考え方の延長線上で、ジャパンサーチも含め、ひなぎくを取り巻く他のデジタルアーカイブとのつなぎ方を改めて考える。



- 震災アーカイブポータルとして、大量のコンテンツの中から、ユーザが求める資料の発見を容易にするため、検索機能等の改善を検討する。

ご清聴ありがとうございました。

ご意見、お問い合わせは、hinagiku@ndl.go.jp まで



この資料（国立国会図書館のロゴを除く。）はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。